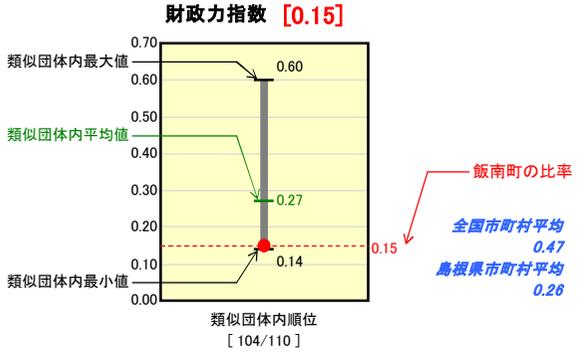


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

島根県 飯南町

人口	6,174人(H17.3.31現在)
面積	242.84 km ²
歳入総額	9,778,203千円
歳出総額	9,608,159千円
実質収支	161,970千円

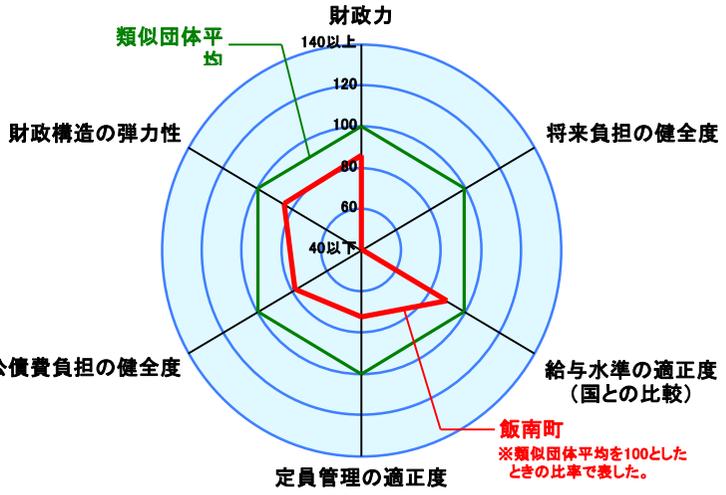
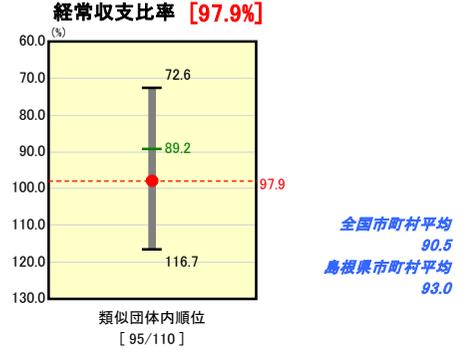
財政力



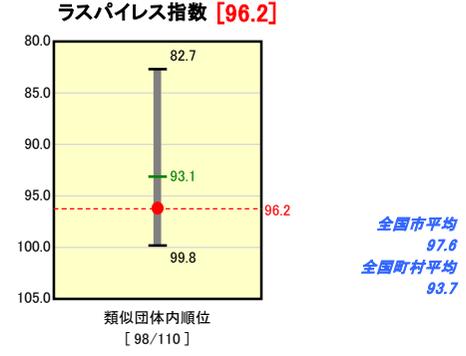
将来負担の健全度



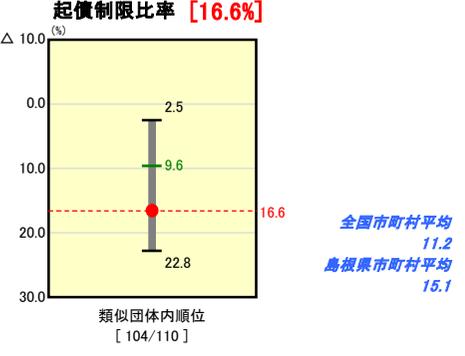
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

【財政力指数】
人口の減少や高齢化比率の上昇(H16末37.7%)に加え、町内に基幹となる産業がないことなどから、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。組織の見直し(1課から7課)や飯南町行政改革大綱に従った経費の節減と総合振興計画に沿った施策の重点化を進め、活力あるまちづくりを進める。

【経常収支比率】
扶助費や公債費の上昇により97.9%と類似団体平均をかなり上回っている。起債の借入額の適正化や繰上償還の実施、職員給与の3~10%の削減、物件費・補助費等の徹底した削減を行うことにより、H21決算において90%以下を目標に改善に努める。

【起債制限比率】
普通建設事業に係る起債の償還に伴い、起債制限比率は、類似団体平均や全国町村平均を大きく上回っている。今後飯南町行政改革大綱や公債費負担適正化計画により、新規発行額の抑制(普通建設事業の財源としては、標準財政規模の20%以内)や繰上償還を行うことにより、平成21年度の起債制限比率を鳥根県平均の15.1%以内に低下させる。

【人口1人あたりの地方債現在高】
道路整備や各種公共施設の整備の実施により、類似団体平均を大きく上回っている。行政改革大綱や公債費負担適正化計画の着実な実施により、新規発行額の抑制や繰上償還の実施により、平成21年度末には、現在の80%を目標に削減を図る。

【ラスパイレス指数】
給与体系の見直しが遅れ、類似団体平均や全国平均を上回っているため、地域の民間給与の状況をふまえて、給与の適正化に努め、今後3年で類似団体平均の水準である、93.1まで低下させる。

【人口1000人あたり職員数】
類似団体に比較し、人口あたりの職員数が多いので新行革指針の目標数値を上回る12.4%減を目標に職員数の削減と内部組織の見直しにより、事務管理の効率化により、住民に対する公務サービスの向上に努める。

定員管理の適正度

